

4號豎穴



5號豎穴



4號豎穴



5號豎穴



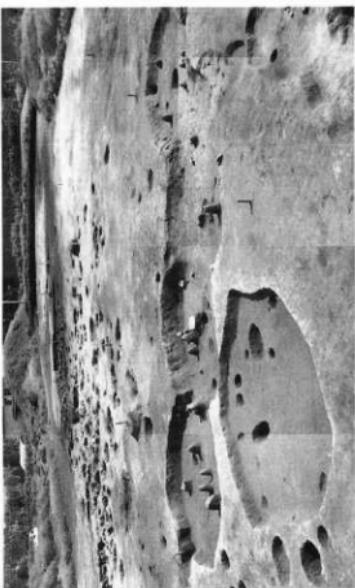
7号·18号·19号型穴



13号型穴付丘断面



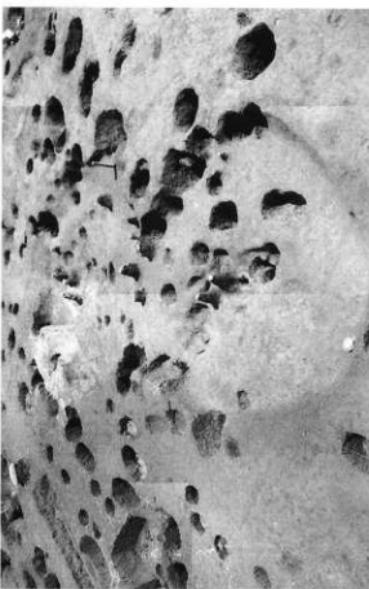
6号型穴



8号~12号·14号型穴



13号竖穴遺物出土狀況



16号・17号竖穴



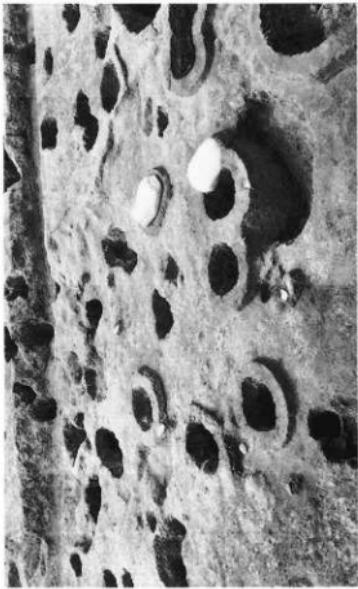
13号竖穴



15号竖穴



21号竖穴



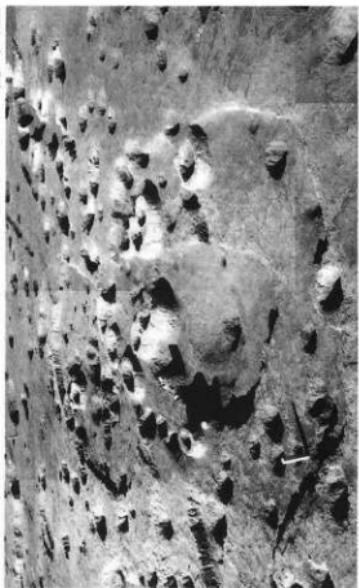
23号竖穴



20号竖穴



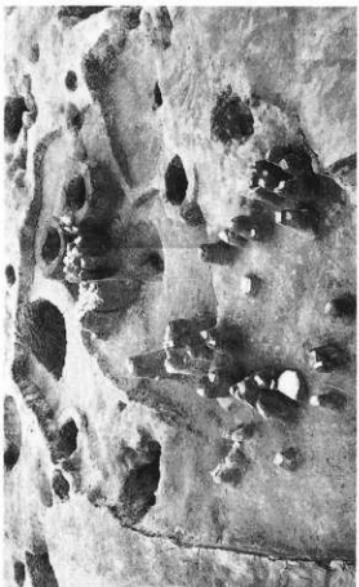
22号竖穴



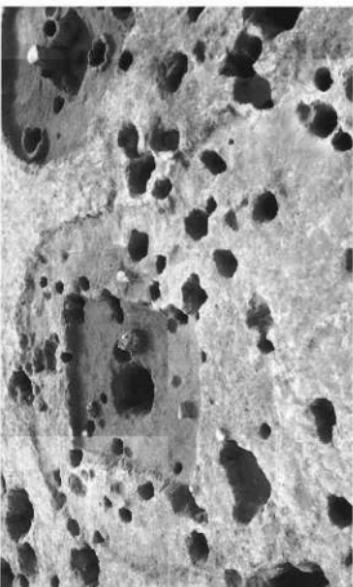
25号·31号豎穴



29号·30号·42号豎穴



24号豎穴



27号·28号·32号豎穴



34号壁穴



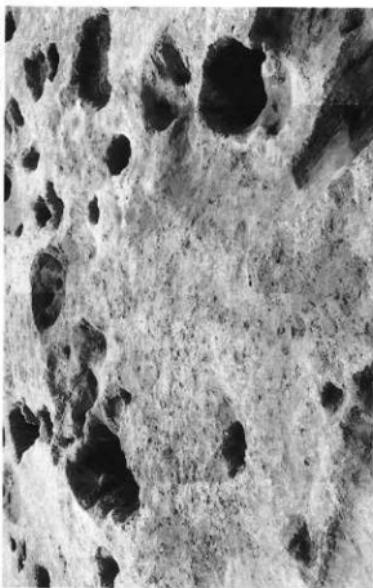
37号壁穴



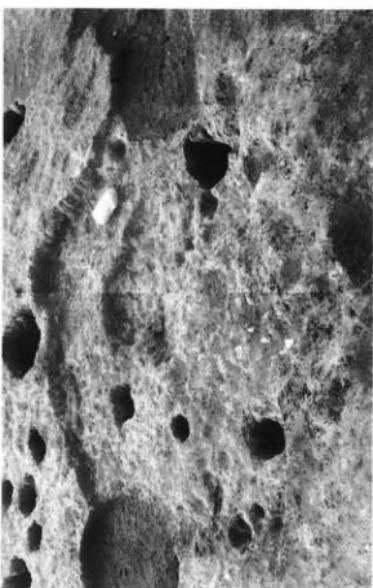
33号壁穴



35号壁穴



39号豎穴



41号豎穴



36号豎穴



40号豎穴



44号竖穴



45号竖穴



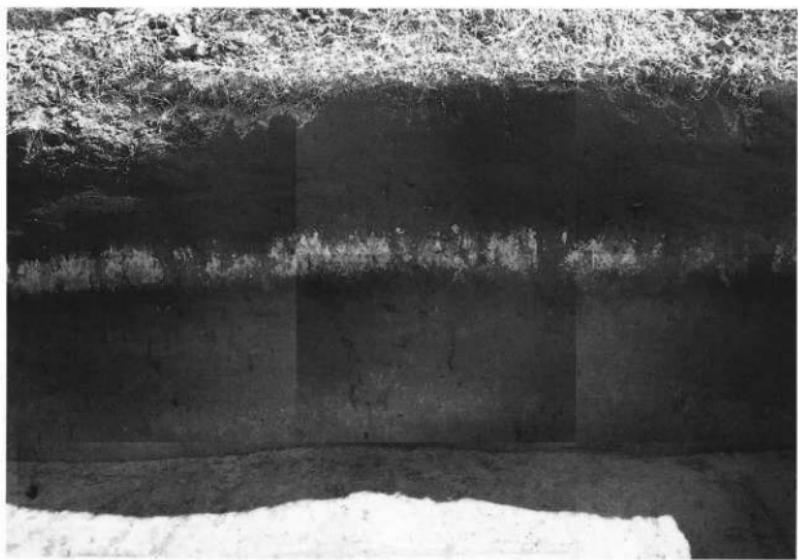
43号竖穴



46号竖穴



57号土坑



深掘り区における層位の状況



35号土坑



41号集石



38号土坑



46号集石



64号土坑



67号·68号土坑



2号集石



砾群



出土陶磁器（1）



出土陶磁器（2）



117



117



118



119



122



123



124

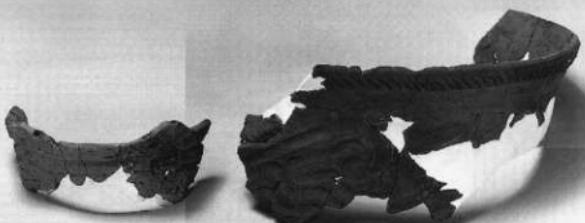


124



125

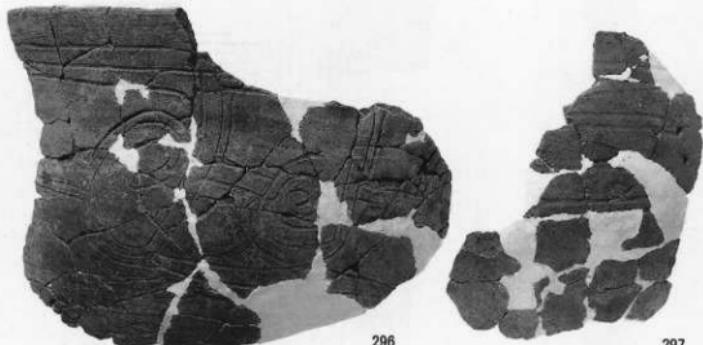
1号集砾石塔



299

294

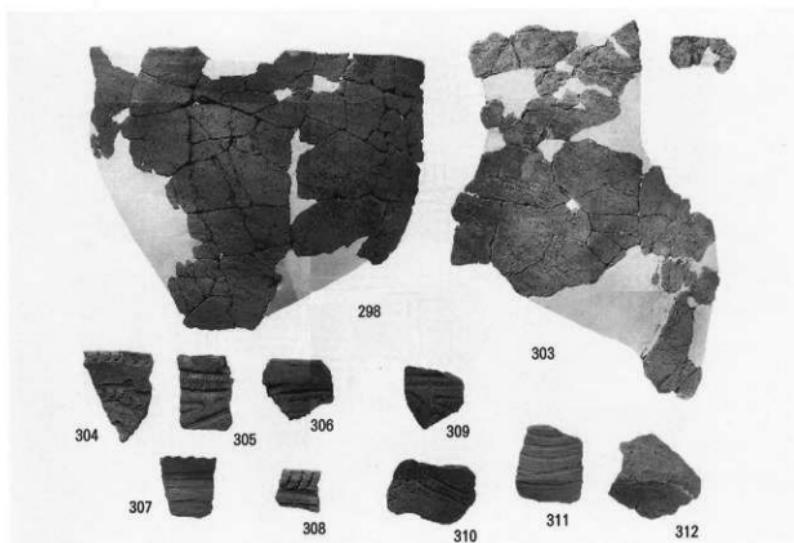
1号竖穴出土遺物 (1)



296

297

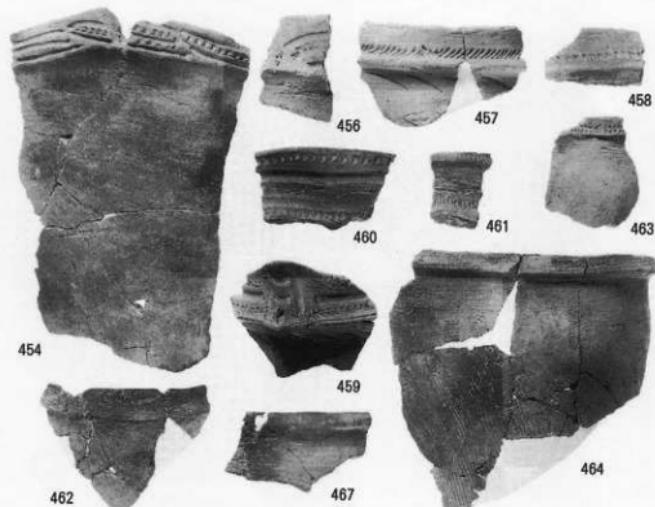
1号竖穴出土遺物 (2)



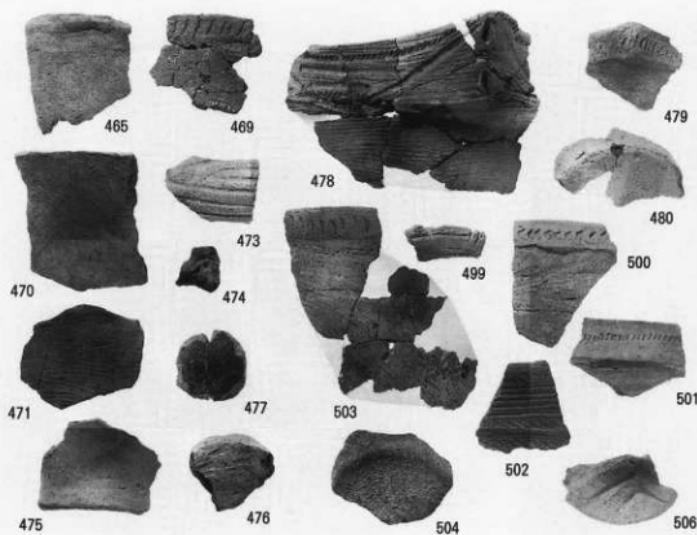
1号竪穴出土遺物 (2)



13号竪穴出土遺物



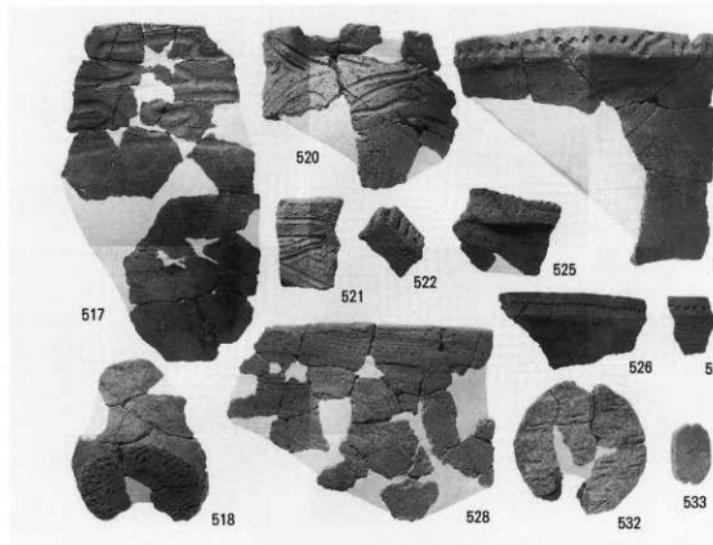
13号竖穴出土遗物



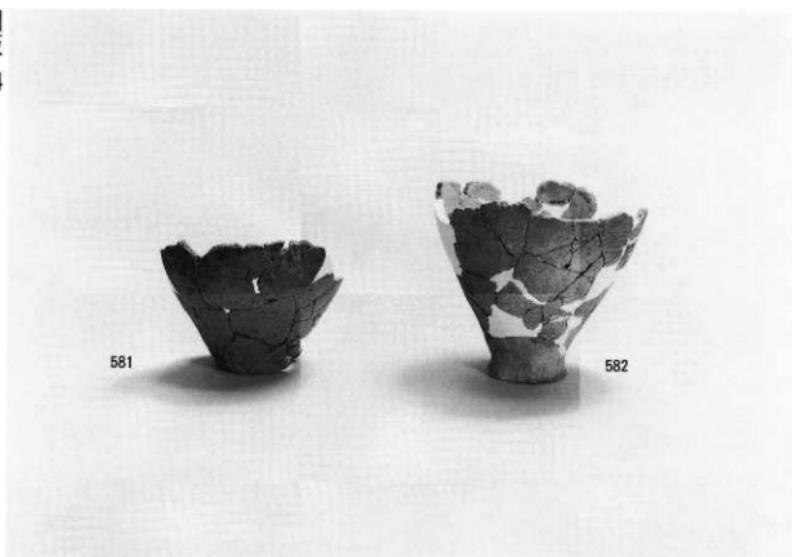
13号·15号·17号竖穴出土遗物



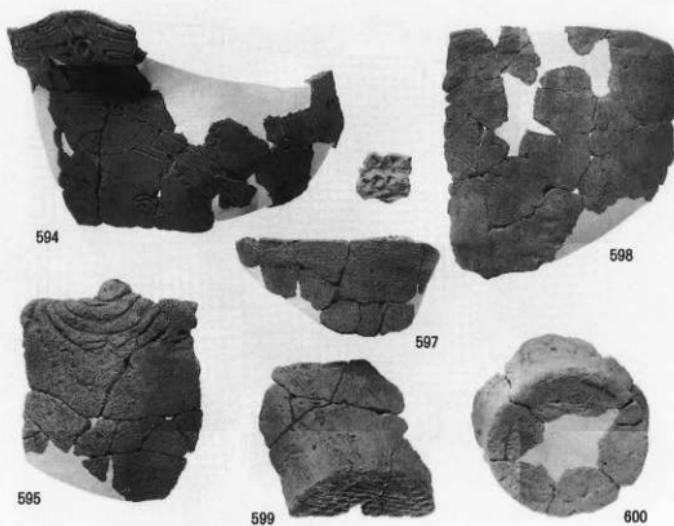
17号・22号竪穴出土遺物



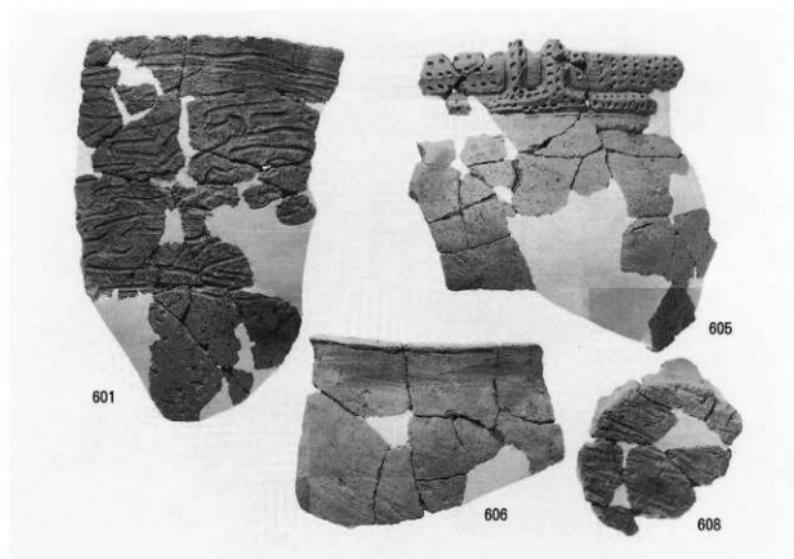
21号・22号竪穴出土遺物



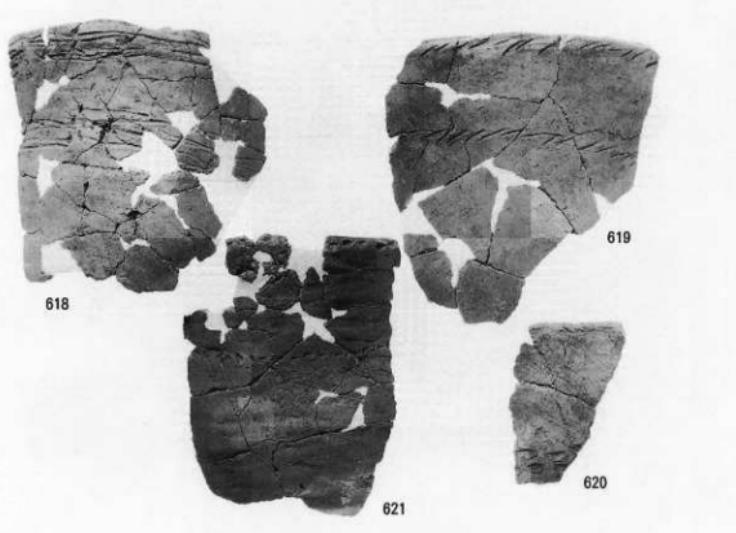
31号竖穴出土遗物



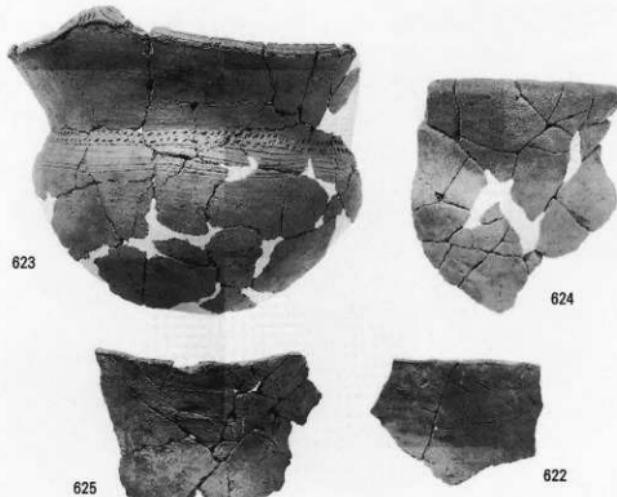
36号竖穴出土遗物



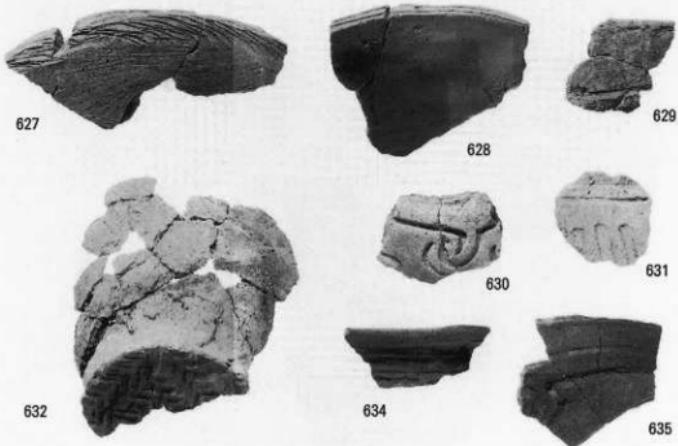
37号竪穴出土遺物



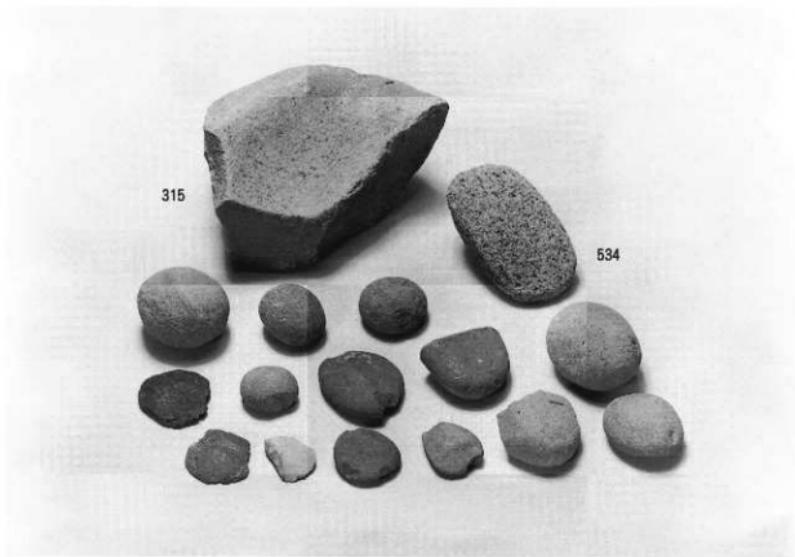
40号竪穴出土遺物 (1)



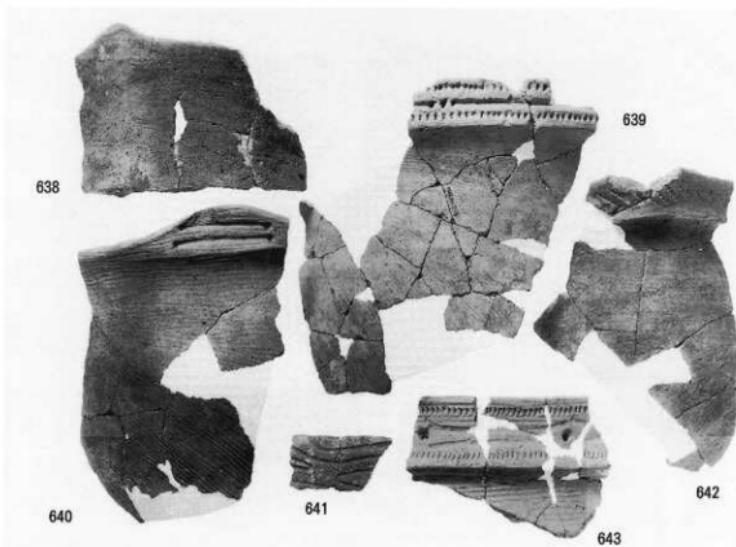
40号竖穴出土遗物 (2)



40号·42号·45号竖穴出土遗物



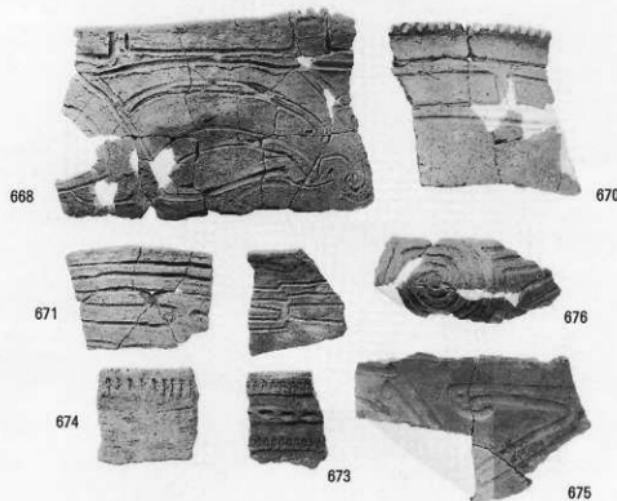
竪穴出土遺物



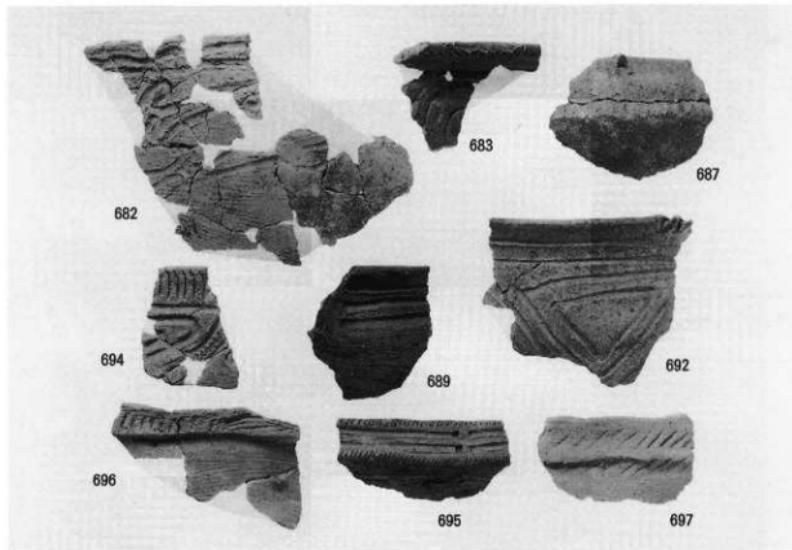
土坑出土遺物



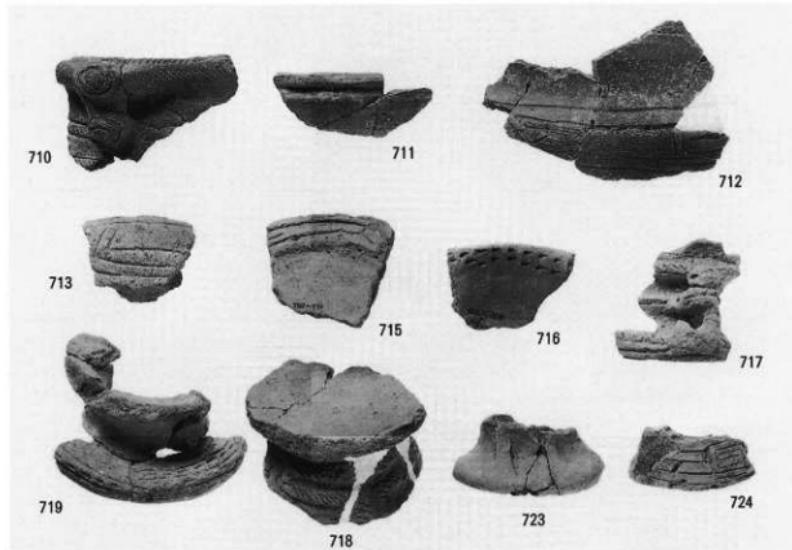
57号土坑出土遺物 (1)



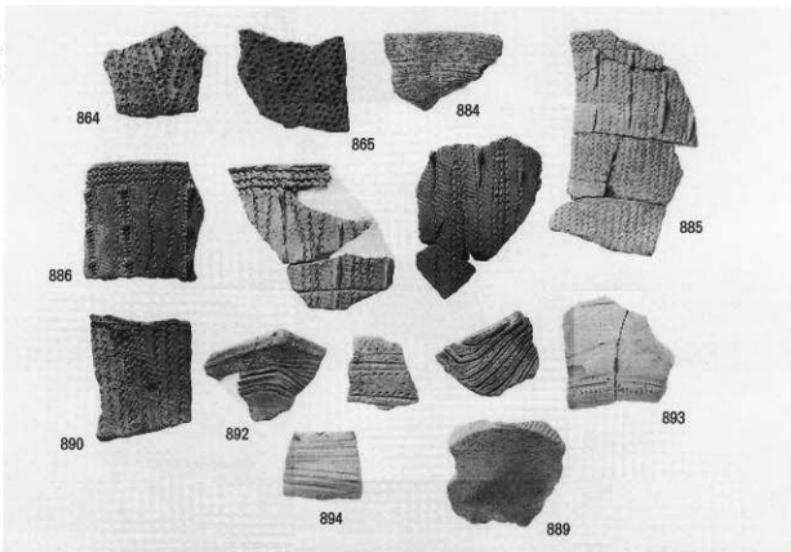
57号土坑出土遺物 (2)



土坑・包含層出土遺物



包含層出土遺物



集石・包含層出土遺物

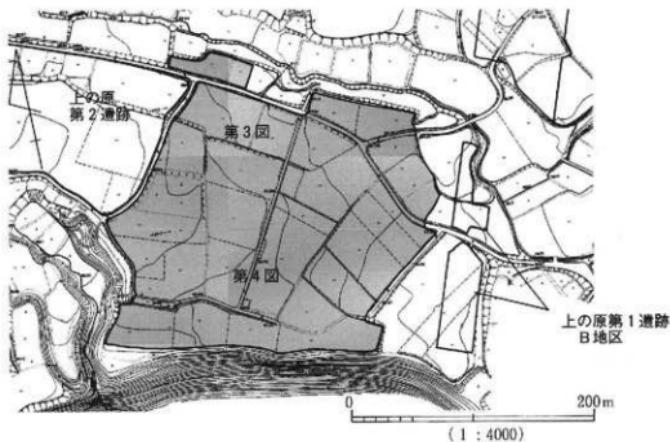
第Ⅱ章 上の原第1遺跡の調査

第1節 調査の概要

上の原第1遺跡は、第2遺跡東方の台地上に位置する（第1図）。台地面は、大きくは第2遺跡中央部付近の最高所より東方にに向けて緩やかに下っていく。第2遺跡の南東にはシラス台地を開析する深い谷が刻まれており、台地面を截ち切る形にはなっていないものの、地形の面で区切りとなることから、そこが第1遺跡と第2遺跡の境界にふさわしいと考えられる。しかしながら、発掘調査に際して設定された両遺跡の境界線は、それよりも東側の畦道上に引かれている。地形に区切られた、あるいは歴史的背景に根ざした「遺跡」と称するよりは、「工区」とすべきものである。このことは、第1集でも述べられている通りである。ただし、そのような便宜的な境界ではあるが、第2遺跡の調査地北東側（谷地形の北側）は遺構の密度が著しく低くなっていることから、両「遺跡」にまたがる遺構は存在しなかった。

発掘調査は、台地上の畠地48,000m²を対象に実施された。台地面とは言え、細かに見ると起伏・高低差があり、また西方（前述した第2遺跡との境界の方向）を除く三方に向けて緩やかに標高を減ずる。旧来、そういうところは緩斜面を成していたと推測されるが、調査着手時は開削が進み、段々畠が一面に展開していた。「原（はる）」の典型的景観と言える。

調査対象地の一部（南側）については平成6年度の平成7年（1995）2月に先行着手し、平成7年4月末より本格的な表土除去、掘り下げを開始した。調査地南西～南側で、縄文時代中期中葉～後葉の竪穴、土坑群が検出され、付近より出土した土器と併せて重要な資料を提供している。また北～北東側では縄文時代晩期の土坑や古墳時代の竪穴住居跡が検出された。



第1図 上の原第1遺跡周辺地形図 (1/4000)